

# 株式会社コウキ 2023 年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年 1月～2023年12月)



®環境省  
エコアクション21  
認証番号0004382



作成日：2024年 3月 1日

# 環境経営方針

## ～基本理念～

当社は、地球の環境保全が全人類共通の課題であることを認識し、社員一丸となり、環境負荷の継続的低減に努め、市民生活と社会に貢献いたします。

## ～行動指針～

当社は、すべての事業活動が環境に影響を与えていると認識した上で、当社の全事業活動において、以下の環境保全活動を推進いたします。

1. 電力・化石燃料・水資源等を継続的に削減し、CO2の排出低減に努めます。  
また化学物質の使用量の削減に努めます。
2. 事業活動により発生する廃棄物については、生産過程の改善検討及び分別処理の推進により、発生量の削減並びにリサイクル化を図ります。
3. 環境に関する法律及び条令、規制、協定を遵守します。
4. 具体的取り組み事項について目標値を設定し、継続的に見直しを行います。
5. この環境経営方針を全従業員に周知するとともに、啓発・教育活動を推進します。
6. 環境に配慮した事業活動を推進します。

2011年5月12日制定  
2023年5月1日改定  
株式会社 コウキ  
代表取締役社長  
日高 博文

## □組織の概要

1) 名称及び代表者名

株式会社 コウキ

代表取締役社長 日高 博文

2) 所在地

本社・営業部 〒662-0941 兵庫県西宮市浜脇町6-23

業務部・神戸東灘工場 〒658-0023 神戸市東灘区深江浜町25

設計部 〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中二丁目9番地1

東北営業所 〒979-1521 福島県双葉郡浪江町大字権現堂字町頭5番地

3) 環境管理責任者氏名

環境管理責任者 小川千寿 (管理部 部長)

4) 事業内容

機械器具設計・製造・設置工事業 及び環境プラント・土壌浄化設備設計据付工事業

5) 事業の規模

売上高 2.2億円

	本 社 営業部	業務部 神戸東灘工場	設計部	東北営業所
従業員数	10名	20名	4名	6名
延べ床面積(m <sup>2</sup> )	176	1,700	81	198

6) 事業年度 1月～12月

## □認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社 コウキ

対象事業所：本社・営業部 〒662-0941 兵庫県西宮市浜脇町6-23

業務部・神戸東灘工場 〒658-0023 神戸市東灘区深江浜町25

設計部 〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中二丁目9番地1

東北営業所 〒979-1521 福島県双葉郡浪江町大字権現堂字町頭5番地

活 動： 機械器具設計・製造・設置工事業 及び環境プラント・土壌浄化設備設計据付工事業

## 実施体制表

### << エコアクション21 取組の体制・組織図 >>



#### 取り組み内容

##### <推進委員長>

- ・環境経営方針の作成
- ・環境管理責任者の任命
- ・環境活動に必要な資源提供
- ・管理システムの評価と見直し
- ・環境経営レポート承認

##### <推進副委員長>

- ・委員長の代行

##### <環境管理責任者>

- ・環境経営システムの構築・実施・管理
- ・環境経営システムの実績を代表者に報告
- ・環境経営実施状況の確認、代表者に報告

##### <環境管理事務局・事務>

- ・文書の作成管理
- ・システム運営上の管理
- ・実施状況の記録
- ・環境活動の実施
- ・環境活動の窓口
- ・環境経営レポートの作成

## □主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	176,111	213,732	133,182
廃棄物排出量				
一般廃棄物量排出量	kg	900.0	900.0	900.0
産業廃棄物排出量	t	41.2	65.8	14.4
水使用量	m <sup>3</sup>	420	347	356

※電力の二酸化炭素排出係数：0.351kg-CO<sub>2</sub>/kWh（2020年度、関西電力、調整後排出係数）

※二酸化炭素炭素総排出量には、東北営業所の電力、0.457kg-CO<sub>2</sub>/kWh（2020年度、東北電力、調整後排出係数）が含まれています。

## □環境経営目標及びその実績

項目		年度	基準値 (2021年)	2023年		2024年	2025年
			(基準値)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kWh		70,794	-	71,741	-	-
	kg-CO <sub>2</sub>		24,849	24,104	25,181	23,855	23,607
	基準年比 /達成率			97.0%	96%	96.0%	95.0%
都市ガスの二酸化炭素排出量削減	m <sup>3</sup>		54	-	36	-	-
	kg-CO <sub>2</sub>		117	113	78	112	111
	基準年比 /達成率			97.0%	69%	96.0%	95.0%
ガソリンの二酸化炭素排出量削減	ℓ		43,769	-	24,399	-	-
	kg-CO <sub>2</sub>		101,545	98,499	56,607	97,483	96,468
	基準年比 /達成率			97.0%	57%	96.0%	95.0%
軽油の二酸化炭素排出量削減	ℓ		19,225	-	19,064	-	-
	kg-CO <sub>2</sub>		49,600	48,112	49,187	47,616	47,120
	基準年比 /達成率			97.0%	102%	96.0%	95.0%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>		176,111	170,828	131,053	169,067	167,305
産業廃棄物の削減	t		45.4	44	14.4	43.6	43.1
	基準年比 /達成率			97.0%	33%	96.0%	95.0%
水使用量の削減	m <sup>3</sup>		373	362	356	358	354
	基準年比 /達成率			97.0%	98%	96.0%	95.0%

※電力の二酸化炭素排出係数：0.351kg-CO<sub>2</sub>/kWh（2020年度、関西電力、調整後排出係数）

※東北営業所については、含まれておりません。

※製品の環境性能の向上及びサービスの改善については、無理・無駄・ムラをなくす活動としている。

※化学物質については、適正管理としている。

※一般廃棄物については、分別の徹底他の行動目標とする。

## □環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	評価（結果と次年度の取組内容）
<b>電力による二酸化炭素排出量の削減</b>		
数値目標	未達成	・来年度も引き続き電力の削減を意識し、業務に取り組んでいきます。
・空調温度の適正化	△	
・不要時の電源オフ徹底（空調、照明等）	○	
・パソコン不使用时の省エネ設定	○	
<b>都市ガスによる二酸化炭素排出量の削減</b>		
数値目標	達成	・目標達成できている。 ・引き続き、ムダな使用を控える。
・ムダな使用を抑える	○	
<b>ガソリンによる二酸化炭素排出量の削減</b>		
数値目標	達成	・ガソリン使用量が減少しました。 ・無駄のない燃料の使用に向け、今後も努めていきます。
・アイドリングストップ	○	
・エコドライブ遵守	○	
・タイヤ空気圧の適正維持	○	
・ルート効率化	△	
<b>軽油による二酸化炭素排出量の削減</b>		
数値目標	未達成	・軽油使用量が増加しています。 ・無駄のない燃料の使用に向け、今後も努めていきます。
・アイドリングストップ	○	
・エコドライブ遵守	○	
・タイヤ空気圧の適正維持	○	
・ルート効率化	△	
・重機使用時の無駄のない 軽油の使用	○	
<b>一般廃棄物の削減</b>		
数値目標	—	・ほぼ例年通りの排出状況です。 ・今後も分別を徹底します。
・分別の徹底	○	
・古紙のリサイクル化	○	
<b>産業廃棄物の削減</b>		
数値目標	達成	・無駄がないように今後も徹底します。
・分別の徹底	△	
<b>水使用量の削減</b>		
数値目標	達成	・目標達成できている。 ・今後も引き続き節水を心がけます。
・日常的な節水	○	
・出し放し厳禁	○	
・節水コマ利用	△	
<b>製品・サービスへの環境配慮</b>		
・検討会議開催	○	社内で月1回、現場案件スケジュールにつき話し合いを行ない、無理・無駄・ムラをなくすようにしている。 また、ホームページを改良し、分かりやすく取扱機器を掲載した。 ・今後も引き続き製品・サービスへの環境配慮に努めます。
・ホームページの更新	○	

## □環境関連法規等の遵守状況及び違反訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき事項	遵守状況
廃棄物処理法	収集運搬・処分業者との契約、許可証確認、マニフェスト交付、交付状況報告	遵守
騒音規制法	特定建設作業届	対象外
振動規制法	特定建設作業法	対象外
フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易点検	遵守
高圧ガス保安法	溶接又は危険時の措置の届出	遵守
家電リサイクル法	エアコン・テレビなどの適正処理	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反訴訟等の指摘は、ありませんでした。

## □代表者による全体の評価と見直し・指示

案件減少等により、2023年は基準年に比べてCO2の排出量が減少となりました。

常日頃より、無駄をなくし、社員各々が環境に関わる会社の一員だという認識をより強く持ち、

今後はエコアクション21とSDGSをリンクさせ、柔軟に環境問題に取り組んでいきたいと思います。

環境経営方針、実施体制については、現状を維持する。

2024年 3月 1日

代表取締役社長 日高 博文

## □環境活動の紹介

### わが社のエコアクションの取組



全社がエコアクションの対象事業所であるため、各事業所に節約を促す貼り紙を貼ることで、よりエコに対する意識を高める取り組みを行っている。



【現場事務所における節水・節電を促す貼り紙】

各事業所だけでなく、現場事務所でも節約に関する貼り紙をし、全社員でエコアクションに取り組んでいる